

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-307096

(43) 公開日 平成4年(1992)10月29日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
D 0 6 F 58/02	S	6704-3B		
58/00	E	6704-3B		

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平3-69719

(22) 出願日 平成3年(1991)4月2日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 武山 幸次郎

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72) 発明者 畑中 裕子

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

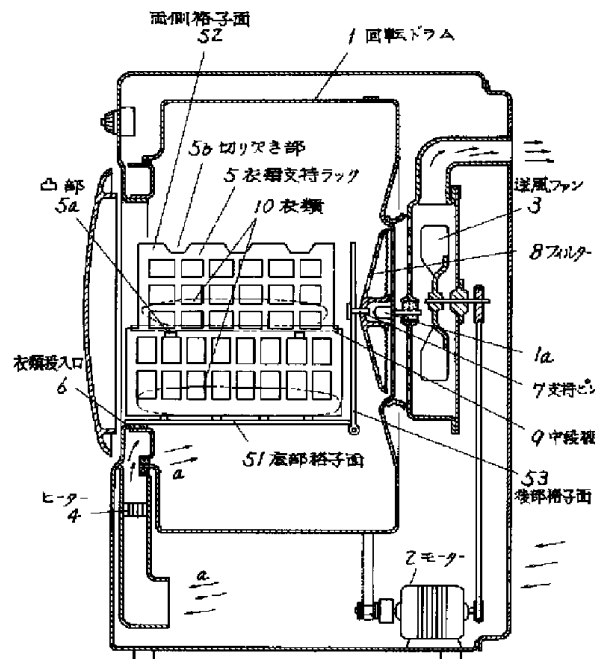
(54) 【発明の名称】 衣類乾燥機

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、ウール、ニットなどデリケートな衣類が乾燥できる回転ドラムを有する衣類乾燥機を提供することw目的とする。

【構成】 衣類乾燥機の衣類投入口に衣類支持ラックの前方を懸架し、動衣類支持ラックの後面の支持ピン軸を回転ドラム後面の回転軸受部に嵌合させて衣類支持ラックを静止して保持した衣類乾燥機で、この格子状ラックにウール、ニットなどの衣類を置いて乾燥する。又この衣類支持ラックは、底部格子面、両側格子面、後部格子面の四面構成とし、各面の蝶番により一枚に折りたたみ可能にしたもの。

【効果】 回転ドラム式の衣類乾燥機でウール、ニットなどの衣類が収縮や傷みなく乾燥することが出来る。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】回転ドラムを有する衣類乾燥機の衣類投入口から出し入れ出来る衣類支持ラックを設け、この衣類支持ラックを上記衣類投入口内面または同内面と回転ドラムの軸受部の衣類乾燥機内側の非動位置に着脱自在に支持させ、上記衣類支持ラックを静止状態で保持することを特徴とする衣類乾燥機。

【請求項2】衣類支持ラックは、折り畳み自在とし、折り畳み状態で衣類投入口より出し入れ可能で、拡開状態で非動位置に固定出来るよう構成したことを特徴とする請求項1に記載の衣類乾燥機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明はウール、ニットなどデリケートな衣類を家庭で乾燥できる回転ドラムを有する衣類乾燥機に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、ウール、ニットなどデリケートな衣類は回転ドラム式の衣類乾燥機では布傷みや収縮が生じるので、乾燥することができなかった。そのため一般家庭ではこれらの衣類を乾燥する場合は屋内で棚の上に平干しするなど自然乾燥する方法を取っているが、夏には一昼夜、冬には二日間かかるなど、長時間かかる欠点があった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】このような従来の課題を解決しようとするもので、回転式の衣類乾燥機でウール、ニットなどデリケートな衣類が乾燥できるものを提供しようとするものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】回転ドラムを有する衣類乾燥機の衣類投入口から出し入れ出来る衣類支持ラックを設け、この衣類支持ラックを上記衣類投入口内面または同内面と回転ドラムの軸受部の衣類乾燥機内側の非動部に着脱自在に支持させ、上記衣類支持ラックを静止状態で保持することを特徴とする衣類乾燥機である。

【0005】さらに本発明は、衣類支持ラックを折り畳み自在とし、折り畳み状態で衣類投入口より出し入れ可能で、拡開状態で非動部に固定出来るよう構成したことを特徴とするものである。

## 【0006】

【作用】本発明は前述したような構成であり、回転ドラム式衣類乾燥機の衣類投入口より出し入れ出来る衣類支持ラックを衣類等入庫内面や回転ドラムの回転軸受部の非動部に支持させているので、回転ドラムの回転に関係なく静止して保持出来る、この衣類支持ラックの上にウール、ニットなどデリケートな衣類を置いても布傷みや収縮の恐れなく安心して乾燥することができる。更に、この衣類支持ラックは回転ドラム内で拡開出来るように折り畳み自在にしているため、回転ドラム内の空間を有効

に利用して衣類を支持させることが出来る。

## 【0007】

【実施例】図1は本発明における一実施例の衣類乾燥機の断面図で衣類を棚干した場合を示している。図2は同じく衣類を棒状ハンガーに掛けた場合を示している。図3は衣類支持ラックの斜視図で、図4は衣類支持ラックを折りたたんだ状態を示している。図5は中段棚の斜視図、図6は棒状ハンガーの斜視図である。図7～図8は衣類支持ラックの折りたたみ蝶番部の詳細図である。

【0008】図1～図8において、衣類を乾燥する回転ドラム1と送風ファン3はモーター2により回転駆動されている。ヒーター4は回転ドラム1内に入る空気aを加熱し、衣類を乾燥する。衣類支持ラック5は前方を衣類乾燥機の衣類投入口6に懸架し、後方の支持ピン7を回転ドラム1の後面に嵌合するフィルター8の回転中心の軸受け部に嵌合させて支持している。従って、回転ドラム1が回転していても格衣類支持ラック5は静止して保持されている。図1は図5に示す中段棚9を衣類支持ラック5の中段凸部5aに設置して衣類10を乾燥する場合を示している。この場合、格子状ラック5の中段と下段で衣類が乾燥できるので、衣類枚数が多くなり都合がよい。図2は図6に示す棒状ハンガー11を衣類支持ラック5の両側格子面の上方切り欠き部5bに衣類10と共に掛けて乾燥する場合を示している。この場合も衣類支持ラック5に棒状ハンガー11を2～3本掛けて乾燥できるので衣類の枚数が多くなり都合よい。

【0009】衣類支持ラック5は図3に示すように底部格子面51、両側格子面52、後部格子面53の四面構成とし、底部格子面51と両側格子面52と後部格子面53とは図7に示す各面の蝶番54、55により図中矢印のように折りたたみ可能になっていて、折りたたんだ状態は図4に示している。このように衣類支持ラック5は使用しない場合は図4のように折りたたんで収納できるので便利である。

## 【0010】

【発明の効果】以上のように本発明によって、回転ドラム式の衣類乾燥機でウール、ニットなどデリケートな衣類を棚干しや掛け干しすることが可能となり、布の傷みや収縮の恐れなく乾燥することが出来るようになった。又、衣類乾燥用の衣類支持ラックは折りたたみできるので、使用しない場合、収納容易になるなど、有用な衣類乾燥機が提供できる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明における一実施例の衣類乾燥機の断面図で、衣類を棚干した場合を示している

【図2】本発明における一実施例の衣類乾燥機の断面図で、衣類を棒状ハンガーに掛けた場合を示している。

【図3】衣類支持ラックの斜視図である。

【図4】衣類支持ラックの折りたたんだ状態を示した斜視図である。



**PAT-NO:** JP404307096A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 04307096 A  
**TITLE:** CLOTHES DRYER  
**PUBN-DATE:** October 29, 1992

**INVENTOR-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
TAKEYAMA, KOJIRO	
HATANAKA, HIROKO	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD	N/A

**APPL-NO:** JP03069719  
**APPL-DATE:** April 2, 1991

**INT-CL (IPC):** D06F058/02 ,  
D06F058/00

**US-CL-CURRENT:** 34/108

**ABSTRACT:**

PURPOSE: To provide a clothes dryer having a rotary drum which can dry delicate clothes like wool or knitwear.

CONSTITUTION: In the title dryer, a clothes holding rack is hooked on a loading opening by the front thereof, and a supporting pin spindle of the rear of the rack is engaged with a rotary bearing part of the rear of the tumbler thus to hold the rack at rest. Clothes such as wool or knitwear are placed on the rack of lattice to be dried. The rack has four sides of the bottom lattice, side lattices, and the rear lattice, and is foldable into one plate with hinges of respective sides.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio